

こころとからだに、
おいしいものを。



2024年9月24日

各 位

会 社 名 ダイドグループホールディングス株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也
(コード番号：2590 東証プライム市場)
問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部長 三原 真紀子
電 話 番 号 06-7166-0077

連結子会社による医療用医薬品「ファダプス®錠 10mg」の製造販売承認取得のお知らせ

当社の連結子会社であるダイドファーマ株式会社（以下「ダイドファーマ」という。）が、「ファダプス®錠 10mg」（一般名：アミファンプリジンリン酸塩、開発番号：DYD - 301）について、ランバート・イートン筋無力症候群の筋力低下の改善を適応症として、製造販売承認を取得しましたので、お知らせいたします。本件に関する詳細につきましては、別紙プレスリリースをご参照ください。

当社グループは、成長性の高いライフサイエンス分野をはじめとするヘルスケア関連市場を次なる成長領域と定め、その中でも国内患者数が5万人未満の難病である希少疾病用の医療用医薬品に着目し、2019年1月に、ダイドファーマを設立いたしました。希少疾病には未だに効果的な治療の選択肢がないものも多く存在しており、社会的な課題とされています。ダイドファーマでは、こうした現状を踏まえ、先天性の希少疾病や、ウルトラオーファン（患者数が特に少ない希少疾病）などの治療薬開発に取り組むべく、優良なパイプラインの獲得に向けた活動を続けております。

なお、本承認取得による2025年1月期連結業績への影響は、2024年8月27日に公表した通期業績予想に織り込み済みであることから、本件による業績予想数値の変更はありません。

本件に関するお問い合わせ先

投資家・報道関係者の方

ダイドグループホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL：06-6222-2621 E-mail：dydo-press@dydo.co.jp

患者様・医療関係者の方

ダイドファーマ株式会社 コールセンター（受付時間：平日9:00～17:30）

TEL：0120-671-611 E-mail：dpcontact@dydo.co.jp

2024年9月24日

各位

ダイドーフーマ株式会社

「ファダプス®錠 10mg」の
ランバート・イートン筋無力症候群の筋力低下の改善を対象とする
日本国内における製造販売承認取得について

ダイドーフーマ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：稲岡 靖規、以下「ダイドーフーマ」という。）は、「ファダプス®錠 10mg」（一般名：アミファンプリジンリン酸塩、開発番号：DYD - 301）について、ランバート・イートン筋無力症候群（以下「LEMS」という。）の筋力低下の改善を適応症として、今般、厚生労働省より製造販売承認を取得しましたのでお知らせいたします。

「ファダプス®錠 10mg」は、ダイドーフーマが、Catalyst Pharmaceuticals, Inc.（以下「カタリスト社」という。）から、日本国内でのLEMSを対象として共同独占的開発・製造販売実施権および独占的商品化実施権の許諾を取得し、日本における開発を行ってまいりました。本剤は、すでに欧州、カナダ、米国においてLEMSを適応症として承認されている医療用医薬品で、カタリスト社が米国ではFirdapse®という商品名で販売しています。

当社代表取締役社長・稲岡靖規は、以下のようにコメントしています。

「本日、日本における「ファダプス®錠 10mg」の製造販売承認を取得出来たことを大変喜ばしく思います。日本においては有効な治療薬がないLEMS患者の方々に一日も早く本剤をお届けできるよう準備を進めてまいります。」

【承認内容の概要】

販売名	ファダプス®錠 10 mg
一般名	アミファンプリジンリン酸塩
効能・効果	ランバート・イートン筋無力症候群の筋力低下の改善
用法・用量	通常、成人にはアミファンプリジンとして初期用量 1 回 5 mg を 1 日 3 回経口投与する。患者の状態に応じて、1 回投与量として 5～30 mg の範囲で適宜増減し、1 日 3～5 回経口投与するが、増量は 3 日以上の間隔をあけて 1 日用量として 5 mg ずつ行うこと。なお、1 日用量は 100 mg を超えないこと。

(ご参考)

ランバート・イートン筋無力症候群について

自己免疫性・神経筋接合部疾患で、神経終末からのアセチルコリン放出量減少により近位筋の筋力低下、自律神経症状などの症状を呈しています。悪性腫瘍に合併、あるいは腫瘍の発症に先行する傍腫瘍性神経症候群の1つです。

「ファダプス錠 10mg」について

「ファダプス錠 10mg」(アミファンプリジンリン酸塩)は、経口の K^+ (カリウムイオン)チャンネル阻害剤であり、神経筋接合部の前シナプス膜にある膜電位依存性 K^+ チャンネルを阻害することで、細胞膜の脱分極を引き起こし、膜電位依存性 Ca^{2+} (カルシウムイオン)チャンネルを開口させ、細胞内への Ca^{2+} の流入を促進することにより、アセチルコリン(ACh)を含むシナプス小胞のエキソサイトーシスを誘発して、シナプス末端からシナプス間隙へのAChの放出を促進、神経-筋伝達を向上させることで筋肉の機能を改善します。本剤は、厚生労働省から希少疾病用医薬品の指定を受けており、ヨーロッパおよびカナダにおいては、既に成人LEMS患者、米国においては、成人及び6~17歳の小児LEMS患者の治療薬として承認されています。

カタリスト社 (Catalyst Pharmaceuticals) について

カタリスト(Nasdaq: CPRX)は、希少疾患患者の生活改善に取り組むバイオ医薬品企業です。生命を変える治療法を市場に送り出してきた実績により、同社は革新的な治療法の導入、商業化、開発に注力しています。また、患者ケアへのコミットメントにより、同社はアクセスのし易さを優先し、シームレスなアクセスと継続的な支援を提供するように設計された包括的な一連のサポートを通じて、患者が必要な治療を受けられるようにしています。カタリストは、戦略的パートナーシップを通じてグローバルな商業的足跡の拡大を積極的に模索しながらも、米国で確立されたプレゼンスを維持しています。カタリストはフロリダ州コーラル・ゲーブルズに本社を置き、フォーブス誌の「2024年米国で最も成功した中小企業の1社」に選ばれています。

カタリスト社についての詳細は、同社ウェブサイト www.catalystpharma.com を、ご覧ください。

ライセンス契約に関するニュースリリースについて

カタリスト社とのライセンス契約に関しては、2021年6月28日に公表したニュースリリースをご参照ください。

[連結子会社によるライセンス契約締結のお知らせ](#)

以上